

平成28年3月18日

神石高原町議会議長 藤 田 晃 己 様

神石高原町議会予算特別委員会
委員長 橋 本 輝 久

神石高原町議会予算特別委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、その審査結果を神石高原町議会会議規則第77条の規定により次のとおり報告します。

(1) 委員会の開催日及び出席委員数

平成28年3月 3日	13人
平成28年3月 4日	13人
平成28年3月15日	13人
平成28年3月16日	13人

(2) 審査議案及び審査結果

- 議案第30号 平成28年度神石高原町一般会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第31号 平成28年度神石高原町国民健康保険特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第32号 平成28年度神石高原町後期高齢者医療特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第33号 平成28年度神石高原町介護保険特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第34号 平成28年度神石高原町簡易水道事業特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第35号 平成28年度神石高原町飲料水供給施設事業特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第36号 平成28年度神石高原町農業集落排水事業特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第37号 平成28年度神石高原町総合開発事業特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第38号 平成28年度神石高原町分収育林事業特別会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした
- 議案第39号 平成28年度神石高原町病院事業会計予算
審査結果 本件については、原案どおり承認すべきものとした

神石高原町議会予算特別委員会 委員長報告要旨

平成27年度、神石高原町議会予算特別委員会の報告をいたします。

去る3月2日の本会議において、平成28年度予算を予算特別委員会に付託されました。

議案第30号 平成28年度神石高原町一般会計予算、議案第31号 平成28年度神石高原町国民健康保険特別会計予算ほか7特別会計予算及び議案第39号 平成28年度神石高原町病院事業会計予算の10案件について、慎重審議・審査した経過及び審査結果をご報告申し上げます。

審査経過であります。本委員会は、町長、副町長、教育長、会計管理者をはじめ、関係各課に出席を求め、3月3日、4日は予算書及び主要事業調書によって事業説明及び若干の質疑時間を設けて行い、3月15日、16日には、委員質疑による集中審査を行いました。

審査結果については、議案第30号 平成28年度神石高原町一般会計予算、議案第31号 平成28年度神石高原町国民健康保険特別会計予算ほか7特別会計予算及び議案第39号 平成28年度神石高原町病院事業会計予算の10案件について、全議案とも全委員の賛成により、原案どおり承認すべきものと決定しました。

平成28年度当初予算編成は、合併後12年目となり、牧野町長の集大成の予算であります。

これまで継続的に取り組んできた各種事業の課題や成果を分析し、健全な町政運営を行いながら、未来に向け切れ目なく引き継ぎ、「新たな協働のまちづくりを深化させ地方創生を図る」ことを最優先目標に掲げ、事業に取り組むと強い姿勢で臨まれました。

合併後は、「信頼と合意」「創造と改革」を基本理念に、限られた財源を「選択と集中」により特色あるまちづくりを進められました。また「3つの過剰」の解消には、行財政改革大綱や集中改革プラン、定員適正化計画、公債費負担適正化計画などを着実に実行し、大きな成果が現れ評価するものです。

一般会計は、前年度に比較して額で2億3千万円、率にして2.5%増の積極型予算となっています。義務的経費のうち人件費及び公債費が大きく減少しています。特に公債費については、起債抑制や繰り上げ償還の効果が現れています。またその他経費については、「神石高原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの実行に伴い補助費を中心に全項目で増額予算となっています。事業を注視しながら、経常経費の抑制に努め、確実に実行し、成果が現れることを望みます。

財産収入については、特に基金を活用した債券の購入に伴う利子収入が大幅に増加し、全体で5,620万円を予算化してあることは評価するものであり、新年度においても経済状況を見極めながら、基金運用に努めていくことを望みます。

特に、次にあげる項目については、予算特別委員会で集中して意見がありましたので、参考にして予算執行をして下さい。

1. 「定住促進対策事業」では、町の将来を担う子育て支援策として、出会いから結婚、出産、子育て、教育までの切れ目ない支援をしており、大いに期待するものです。このことを町内外にアピールし定住につながることを望みます。
2. 医療の核となる町立病院は、町民に愛される病院でなければならず、また、もっと住民に寄り添った病院でなくてはなりません。現状を直視し、早急に診療科目及び医業収益を精査し、町立病院の在り方について引き続き検討をすべきです。
3. 農業面では、耕作放棄地を再生活用し、トマト農家の担い手育成のため研修施設や新規就農者の指導体制など環境整備を早急に図ることや、トマト選果機の更新など早期に協議検討し実行することを望みます。
4. 今後、増加傾向にある空き家については、空き家バンク制度の充実や倒壊の恐れがある空き家対策を早急に検討すべきです。
5. 起業家支援や中小企業の育成を最重要施策に掲げている以上、物品納入業者や指定管理者などを選定する場合は、特に地元業者への配慮が必要ではないかと考えます。
6. 新年度は、協働支援センターが4月に設立され、新たな地域づくりの元年です。協働という大きなテーマで、人と人が協力し、支え合うコミュニティの構築を早急に確立し、協働支援センターが核となり、新しい地域社会を築き地域力を回復させ活性化につながるよう期待するものです。

終わりに、町民が町の未来に夢と希望がもてるよう、「信頼と合意」、「創造と改革」の基本理念のもと「県内で一番住みやすいまち、誰もが住んでみたいまち」づくりの実現に向け、町長を先頭に職員一丸となって取り組まれることを希望して、神石高原町議会予算特別委員会の委員長報告といたします。